

2022.2.4

保護者 各位

2021 年度事業所評価の結果について

日頃より、きりんグループの活動にご理解とご協力を賜り大変感謝申し上げます。

この度は、事業所評価につきまして「保護者からの事業所評価」と「事業所自己評価」の2つが揃いましたので、あわせてお知らせをいたします。

皆様からのご意見が、事業所運営に気づきを与えてくださいます。この「事業所評価」の取り組みを通して、振り返りと課題の抽出に大変効果を上げております。更なる事業発展の為に、今後とも評価のご協力をお願い致します。何か不明な点がございましたら、細かな事でもお声掛けください。

なお、この結果は社会館のホームページにて3月中にアップされることとなっております。是非、この機会にご覧いただけたらともいます…といっても何が大きくリニューアルされているものでもありませんが、きりん以外の館内事業所の取り組みも記載されておりますのでどうぞ。

コロナウイルスの感染拡大が止まりません。学校の行事やきりんの活動にも影響が出てきそうで、毎日ヒヤヒヤしております。卒会生を皆で送り出せるようにみんなで知恵を絞ってやっていきましょう！

今後とも、よろしくお願いいたします。

放課後等デイサービス・きりんグループ
管理者 石川 彰子

放課後等デイサービス評価表

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | ご意見 |
|------------------|---|---|----|---------------|-----|---|
| 環境・ 体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか？ | 10 | 2 | | ・少し狭いなど感じることは多いですが工夫してくれていると思います |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか？ | 12 | | | |
| | ③ | 事業所の設備等は、スロープや手すりの配置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか？ | 11 | 1 | | |
| 適切な 支援の 提供 | ④ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで、放課後等デイサービス計画が作成されているか？ | 12 | | | |
| | ⑤ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか？ | 12 | | | ・コロナ禍で選択肢が限られる中でも工夫していただいていると感じます |
| | ⑥ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか？ | 12 | | | |
| 保護者 への 説明等 | ⑦ | 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明がなされたか？ | 11 | 1 | | |
| | ⑧ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解が出来ているか？ | 11 | 1 | | ・よくしてもらっています。忙しそうにされていて話ができないこともあります。寄り添おうとしてくれるのはわかります |
| | ⑨ | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか？ | 11 | | 1 | |
| | ⑩ | 父母の会の活動の支援や保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか？ | 10 | 2 | | ・コロナ禍で保護者が集う会が少ないが、工夫された取り組みをしている ・難しいかもしれませんが、このような状況のためオンラインでの保護者会なども検討いただけるとありがたいです |
| | ⑪ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか？ | 11 | 1 | | |
| | ⑫ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか？ | 11 | 1 | | |
| | ⑬ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか？ | 11 | 1 | | |
| | ⑭ | 個人情報に十分注意しているか？ | 11 | 1 | | |
| 非常時 等の 対応 | ⑮ | 緊急時対応マニュアル、防止マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知しているか？ | 10 | 2 | | |
| | ⑯ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練、救出、そのほかに必要な訓練が行われているか？ | 12 | | | |
| 満足 度 | ⑰ | 子どもは通所を楽しみにしているか？ | 10 | 2 | | |
| | ⑱ | 事業所の支援に満足しているか？ | 11 | 1 | | |

<保護者からの評価を受けて事業所からの説明>

今回は、「いいえ」「どちらでもない」の評価にチェックがついている項目について事業所から説明をさせていただきます。皆さまからのご意見がより良い事業所運営に反映されるよう、いままでの活動に留まることなく、更により良いものになるよう努めてまいります。

| | チェック項目 | はい | どちらでもない | いいえ | ご意見 |
|---|--|----|---------|-----|---|
| ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか？ | 10 | 2 | | 学童と同じスペースで過ごしている時間は少し手狭に感じる事があるかもしれません。来館は放デイ支援室で受け入れをして学習に取り組んでいます。また、遊びによって学童の部屋と放デイ支援室を使い分けて、一人ひとりの安心と安全に配慮した工夫に努めています。気になる事があれば改めてお声掛けください。 |
| ⑨ | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか？ | 11 | | 1 | 保護者の方に不安な思いを抱かせてしまい、大変申し訳ございませんでした。年に2回の面談だけでなく、連絡帳の記載又は、メールでのやり取りが適切に行われなかったのだと反省いたします。 |
| ⑩ | 父母の会の活動の支援や保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか？ | 11 | | 1 | オンラインでの保護者会についてご提案、ありがとうございます。コロナ禍において様々な工夫が求められています。今後、保護者会役員さんとも相談をして対応できるようであれば考えていきたいです。 |
| ⑬ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか？ | 11 | | 1 | 今年度の取り組みの中で力を入れていたところです。前月の活動の様子を、支援室前の掲示に写真入りのプリントにして貼りだしていました。イベントだけではなく、誕生日会の様子や日常の遊びの様子、おやつの新メニュー等も意識して取り上げていました。今後も継続していきたいと思っていますので、お迎えの際には目を通してもらえたらと思います。 |
| ⑮ | 緊急時対応マニュアル、防止マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知しているか？ | 10 | | 2 | 年度の初めに毎年お配りしている『放課後等デイサービス・きりんグループのお約束』の中に、防災関連のページがあります。保護者の時に説明をするだけですが、その中に子どもたちの安全を守るための基本的な行動や約束が書かれていますのでご確認ください。次年度以降は、新年度の保護者会の時を使って更に丁寧に各種マニュアルについて説明をさせていただきます。 |
| ⑰ | 子どもは通所を楽しみにしているか？ | 10 | | 2 | 通所を楽しみにしてる！と全員が思っていてくれたら嬉しい所ですが、実際のお子さまの生々しい声を記入していただき、ありがとうございます。「もう、留守番ができる」「家でゲームがしたい」そんな声が聞こえてきそうです。きりんでは、集団で動くこともあり自分の自由が効かない事がある為、我慢をしたり、喧嘩もあります…。しかし、そこに他の事業所にはない不便さの中の学びがあると考えています。喧嘩の後の仲直りや話し合いで自分の意見を言う経験と折り合いをつける難しさ、また、友達との距離の取り方などもきりんだからこそ、生活の中に失敗と成功がたくさんあると自負しています。苦手な事が多い生活ではありますが、そのなかでの成長を信じて送り出してくださいとお願いします。 |



| | チェック項目 | はい | どちらでもない いいない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|--------|---|----|-----------------|-----|---|
| 環境体制整備 | ① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 8 | | | ・2部屋あることで目的(遊び、宿題)に応じたスペースの使い方ができている |
| | ② 職員配置数は適切であるか | 8 | | | ・制度を守り適正に配置している ・児童指導員等加配加算をとっている為、人員は多めに配置している |
| | ③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 8 | | | ・エレベーター、手すり、広い車いす対応トイレある ・複合型施設であるため、車いすの方やご高齢の方が優先的にエレベーターを使用しているが、必要な方はいつでも使えるようにアナウンスしている |
| 業務改善 | ④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 8 | | | ・日々の日誌や月1回のミーティングで振り返りができている ・月に一度のスタッフ全員でのミーティングで物事を確認したり行事等の振り返りを行っています |
| | ⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 8 | | | ・保護者から出して頂いた意向等は共有し、改善策を考えている ・常にミーティングで話し合いの場を設けている |
| | ⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 8 | | | ・制度に従い、年度末には保護者の事業所評価と併せて公表をしている |
| | ⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 2 | 4 | 1 | ・無記名…1 ・外部評価は行っていない ・複合施設内の事業所である利点は、たくさんの職員の目が入り常に適正に運営されているかを見てもらえる環境にある事だと思っている |
| | ⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 8 | | | ・新人研修やペアレントトレーニング研修など職員個人の課題に応じて参加できる機会がある ・感染症の流行の中でもリモート研修や参加人数、会場の様子を見て、研修の機会を作ってもらえています ・コロナにより難しくなっているが機会を閉ざしているわけではない |
| | ⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 8 | | | ・全職員が一人ひとりのアセスメントに関わることで多角的な分析になっていると思う ・非常勤職員も含めて支援計画の作成、振り返りを行っている ・保護者及び子どものニーズを把握するべく、話し合いの機会を多く設けている |

適切な支援の提供

| | | | | | |
|---|--|---|---|--|--|
| ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 8 | | | ・一日のスケジュールボード、メンバー表、予定表(月刊)等。子ども一人ひとりの姿によって効果に差がありますが、年をかさねるごとに効果が発揮されたり、情緒の安定につながっています |
| ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 7 | 1 | | ・常に共有している ・職員全体のミーティングに加え各係のミーティングで話し合う機会がある ・常勤職員を中心に数名で話し合っている |
| ⑫ | 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか | 8 | | | ・外出プログラムが豊富で同じ「キャンプ」という名称でも参加するメンバーに応じた内容のバリエーションがある ・今の子ども達の様子に合わせたプログラムを計画しています。挑戦できる環境を作ること意識しています |
| ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 7 | 1 | | ・常に魅力あるプログラムを提供している ・平日、休日、長期休暇という項目に分けてはいいないが、子どもの姿にあわせて長期目標、短期目標を考えている |
| ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 8 | | | ・集団で生活していくことを中心に考え、その中で個別の対応や活動をしている |
| ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 8 | | | ・その日のスケジュールや支援の仕方などが掲示されていてわかりやすい ・全員ではないが当日の支援者と情報を共有し、役割分担をしている ・「一日メモ」でその日の流れと役割を確認できている ・「一日メモ」を使って支援開始前に予定や注意事項を確認している。不明点があればすぐに口頭で確認できる環境である |
| ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか | 4 | 4 | | ・日誌等を活用し、共有している ・必要に応じて実践されている ・必ず振り返りをしているというよりは必要な時に必要な方法(日誌・口頭)で共有できている ・日誌にて振り返りを行っている。他の職員が書いたものも常に共有されるので気づきが広がっている |
| ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 8 | | | ・業務日誌や個別の支援記録を通して分析に努められていると思う ・毎日必ず日誌を書くことになっている。そこからヒヤリハット、ニコリハット、インクルーシブな関わりもチェックしている |
| ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画に見直しの必要性を判断しているか | 8 | | | ・制度に基づき、半年に一度行っている ・本人と保護者の両者同席のもとで面談を行うことをすすめ、本人主体の計画となるよう工夫をしている |

| | | | | | | |
|--------------|---|--|---|---|---|---|
| | ⑱ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか | 8 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・㊦クリスマス会、トライキャンプ、㊧野外体験・季節ごとの行事、㊨ハロウィン、㊩夏休みのミニサークル、内遊び、外遊びなど、多彩なプログラムを用意している ・全ての要素を積極的に取り入れている ・常にこの基本活動が組み合わせられた生活がおこなえているように感じる |
| 関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 8 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・児童の様子と家庭状況の両面を把握している職員が担当者会議に出席している ・場合によっては複数名が同席をして共通理解の元支援をすすめられるよう取り組んでいる |
| | ㉑ | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 8 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・常に情報共有できる関係を保っている ・子どものお迎えの際、直接お話ししたり、電話でやり取りしたり、意識して学校との関係づくりをしている |
| | ㉒ | 医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | 6 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・医療ケアを必要とする利用児がいない ・対象児がいない |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 8 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・同じ施設内にあるこども園とつながりが深い ・保護者に確認をとり利用前に見学に行かせてもらっている |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから所外福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報提供する等しているか | 8 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・実際に他の事業所に足を運んで情報共有する機会もある ・様子を伝えたり、アドバイザーをつなげるようにしている |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 7 | 1 | | <ul style="list-style-type: none"> ・療育手帳の更新の際には、児童相談所に出向き判定結果とその時の様子や事業所として取り組めることの助言を受けている(家庭からの了承を得ている) |
| | ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 8 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・学童と放デイと日常的に活動している ・同じ「きりんグループ」として学童保育と常に交流している ・常にある |
| | ㉗ | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参画しているか | 4 | 4 | | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は大きな動きはなく、関わる事は難しかった ・市内の通所支援事業所連絡会の会合には出席、必要な情報を得る事ができている |
| | ㉘ | 日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか | 8 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・日頃から会話をして情報共有したり必要なタイミングで面談もできる ・お迎えの際にお話ししたり、連絡帳やメール、電話で子どもの様子を伝えあっている。必要に応じて面談をしじっくり話す機会も設けている |

| | | | | | |
|-----------|----|---|---|---|---|
| | ②⑨ | 保護者の対応能力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか | 6 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での過ごし方、家族、本人の困り感に応じて支援を行っている ・職員は順番にペアレントトレーニングの研修を受け、技法として身につけている為、日常の支援の中で大いに活用している |
| 保護者への説明責任 | ③⑩ | 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 8 | | <ul style="list-style-type: none"> ・入会契約時に行っている。支援の内容は半年に一度、支援計画の説明、モニタリングを行っている |
| | ③⑪ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 8 | | <ul style="list-style-type: none"> ・電話、メール、連絡帳、直接のやりとり等で行っている ・必要に応じて、職員と保護者で面談を行いじっくりと話をする機会も設けている |
| | ③⑫ | 父母の会活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 8 | | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者会の活動が盛んで委員の活動などを通して繋がりができていると思う ・学童と一緒に保護者会がある。放デイの家庭の負担も考え、正または準会員どちらかを選べるシステムになっている。保護者会主催、事業所主催等さまざまな形でイベントを行っている |
| | ③⑬ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 8 | | <ul style="list-style-type: none"> ・年度の始めに配布する資料にも窓口が明記されている ・体制については年度はじめに説明をしている ・県が主催する研修に職員が参加して苦情対応についての意識を向上させている |
| | ③⑭ | 定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 5 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・月の予定や行事の内容などを適切なタイミングで掲示している ・会報とまではいかないが定期的に子どもの様子がわかるような掲示をしている |
| | ③⑮ | 個人情報に十分注意しているか | 8 | | <ul style="list-style-type: none"> ・回覧する資料についても名前を伏せて回すなどの配慮がされている ・出席簿は他者から見えにくいようにカバー付きのバインダーで保管している ・個人情報に関わる書類は職員専用の事務室に保管されている |
| | ③⑯ | 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 8 | | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもそれぞれに合った個別の対応を心がけている。コミュニケーションカードや視覚的に分かりやすいものを使用することもある |
| | ③⑰ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 8 | | <ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス会やハロウィンを通して積極的な地域との交流がある ・月に1回「おやつ買い」として地域のお店に出向いている ・クリスマス会に招待している ・おやつ食材等、子どもと一緒に商店街に買い物に行く機会が多い ・子どもの下校を毎日見守ってくださる方もいて協力関係が構築されている |

| | | | | | |
|---------|----|---|---|---|--|
| 非常時等の対応 | ③⑧ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 8 | | <ul style="list-style-type: none"> ・訓練実施後は、ミーティングで振り返り等を行っている ・フローチャートとして掲示したり簡易化した手順をミーティングで配布し共有したりしている ・「きりんグループのお約束」という毎年配布する冊子を使い、年度始めの保護者会で保護者に向けて毎年説明をしている |
| | ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っているか | 8 | | <ul style="list-style-type: none"> ・約4回の訓練でシチュエーションも工夫しながら実施できている ・係が主体となって定期的に行っている ・訓練後の振り返りは、職員だけでなく子どもと一緒にを行うため、子ども自身が防災意識を高める事に繋がっている |
| | ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか | 8 | | <ul style="list-style-type: none"> ・研修会には積極的に参加している ・同じ職員が参加する事のないように配慮し、順番に研修を受ける機会を保証している |
| | ④⑪ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 3 | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・現在は身体拘束をしなければならない事例がないが、マニュアルの整備やその機会が考えられるケースでは支援計画の備考欄にその旨を記載し保護者の同意を得るという手順が整っている |
| | ④⑫ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか | | 8 | <ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示書に基づいた対応については事例がなく分からないがアレルギーに関する情報収集を行っている ・アレルギーに関しては保護者とやりとりをしている |
| | ④⑬ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 8 | | <ul style="list-style-type: none"> ・日誌にヒヤリハット欄があり、共有している ・ヒヤリハットだけではなくニコリハット、インクルーシブの事例も収集して集計・分析する取り組みをしている ・日誌にヒヤリハットを記入する項目がある。他にも日誌の文章の中から見つけて事例集に落とし込んでいる |